

# Tutti

岡山県合唱連盟機関紙トウッティ99号

発行責任者：事務局長 内田 毅  
事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方  
TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726  
e-mail : jcaokayamaoffice@yahoo.co.jp

### 主な内容

- 2面 全日本合唱コンクール出場報告 1  
倉敷少年少女、総社西中学校
- 3面 全日本合唱コンクール出場報告 2  
合唱団こぶ
- 4面 合唱の祭典 コール・ファミリーユ  
コンサート情報 編集後記

## 2018年度を終えて

岡山県合唱連盟事務局長 内田 毅

去る2月12日(日)、倉敷市芸文館で24回目となる岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストが開催されました。今回は6部門に64団体の参加があり、全国大会には中学校部門に金光学園中学校のグループ、高等学校部門に岡山城東高等学校のグループ、そして一般部門に合唱団こぶのグループを推薦させていただきました。全団体を通じての最優秀・グランプリは音羅 (Onra) ヴォーカルアンサンブルが獲得されました。

これで平成28年度の全事業を無事に終了することが出来ましたが、これも連盟の役員・理事、会員の皆さまのお陰と心からお礼を申し上げます。28年度は通常の事業の他に、9月に第55回中国合唱コンクールを開催し、11月に「カメラータ・ザルツブルク岡山公演」に合唱で参加しました。この演奏会では「レクイエム」(モーツァルト)を演奏しましたが、県連で組織した記念合唱団では男声が集まらず、ご一緒いただいた“岡山バッハ・カンタータ協会”には大変にご迷惑をかけてしまいました。しかし、両団の融和に努めていただき、岡山公演、東京公演共に大成功となりました。参加された連盟会員も苦しい練習に耐え、声を合わせる、音色を合わせる、気持ちを合わせるという合唱の基本の大切さを体感され、得るものがたくさんあったと思います。(写真は東京公演)

さて、今年度は8月に第40回全日本おかあさんコーラス全国大会を岡山県合唱連盟の主管で開催します。岡山での開催は20年振り、前回は倉敷市民会館でした。丁度全日本合唱連盟の創立50周年にあたり、記念事業の締めくくりとして“今は無きチボリ公園”でコーラスジャンボ

第24回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞受賞団体						
	出演順	団体名	賞	優秀賞	全国大会	備考
重唱	4	倉敷少年少女OCTET	金	○		
	5	ロータスの華	金			
	8	Stalice	金			
ジュニア合唱	2	VENET	金			
	5	バクチーノ	金			
	8	倉敷少年少女ジュニア	金	○		
	9	KJくすのきコーラス	金			
	10	岡山白陵中学校合唱同好会	金			
	14	～16素材のハーモニー～十六茶	金		○	中学校部門
高等学校	3	まりものおきて	金			
	4	Cantate	金			
	5	Shujitsu high school	金			
	8	お食事処どんぶりいる	金	○	○	高等学校部門
	12	A	金			
女声合唱	2	La Voce 第二章	金			
	6	ころぶーろ	金			
	7	anima.	金			
	13	La Voce 第一章	金			
	15	倉敷少年少女シニア	金	○		
男声合唱	3	音羅 (Onra) ヴォーカル・アンサンブル	金	○	○	一般部門
混声合唱	4	Flügel	金			
	6	こぶは時を超えて	金	○		
	8	就実大学・就実短期大学グリークラブ	金			
	9	コール・ゆうぶんげん	金			

リーを行った年です。大変な事業でしたが近藤安个先生の下、連盟一丸となって・・・、と思い出します。今年も全国から大勢の元気なおかあさん方がおいでになるので、それに負けないよう受け入れ態勢を整えてお迎えしなければなりません。

総会でスタッフ募集の案内をお配りしますので多くの方にお手伝いをいただけるようお願いいたします。

そして、岡山県連は全日本と同じく70周年を迎えます。

4月の定例総会では前号の Tutti より具体的なことをお知らせし、記念合唱団の募集も始めることとなります。こちらも多数の参加をお願いします。



# 全日本合唱コンクール「全国大会」までの道

倉敷少年少女合唱団 団長・指揮者 難波夕鼓

「それで、どんな合唱団にしたいん?」「う〜ん、全国大会に行けるような合唱団…かな? (笑)」7年前、急に団長になった私が、やはり急速伴奏を引き受けてくれた生徒妹に尋ねられ、漠然と答えた言葉、本当に実現する日が来るとは…。

4年前に大学コース部門が新設され、毎年県代表として中国大会に行かせて頂けるようになった。しかし、大学生が大人数で大会を競う大学コースは、そもそも「合唱のスタイルが違う」という気がして、どんなにがんばっても金賞の一步手前、全国が望めるような状況ではないと思えた。現に、全国大会まで出場してくるようなまんの一握りの少年少女合唱団は、全国的に見ても全て同声か室内部門からの出場だ。



一昨年の中国大会、大学コース終了後、ある野望のもと視察を行った。「他部門なら可能性があるのでは…?」結論は、「金賞を目指すなら同声部門。全体のレベルは高いが僅かでも全国の可能性があるとするれば室内部門。」

その後、アンコン全国で金賞を頂けた事もあり、ますます少人数部門が適していると確信したが、中国支部では「少年少女はコースに出場」とのお達しが。しかし、今回も県連の暖かいご尽力により室内への出場が認められた。

中国大会当日、やはり全国常連は上手い、無理だろうか?審査発表、「倉敷少年少女、金賞!!」(よっしゃキタ〜!) 団員キヤー!「全国大会出場団は…」(どうだ?!「倉敷…」団員絶叫!…あまりに狙い通りとなり、自分でも驚いたが、審査結果はわずか1点差の逃げ切りだった!

こうして初出場した全国大会では、一流指揮者の先生方率いる全国レベルの大迫力の演奏に初めて接する機会を頂き、「合唱ってこんなに凄いなんだ!!」と圧倒され、またこの世界に参加できたら…と思いました。予想外の高評価や暖かいお言葉を下さった審査の先生方、(知る人は知る)観客賞まで頂いたこと、当団の子ども達に本当に素晴らしい経験をさせて頂きましたこと、お支え下さいました全ての皆様こころよりお礼申し上げます。

コンクールに挑戦してきたお陰で、近年、難易度と芸術性の高い合唱曲にも取り組むことが出来るようになりましたが、それを易々と「楽しむ」力がついてきた当団の子ども達に驚き、ここまで続けて来られたことに感謝しております。音楽の好きなお子様、見学にお越しになりませんか?倉敷市外からも大勢の団員が参加、楽しく歌っています!

## 歌道一直線

～悔いのない演奏をめざして～

総社西中学校コーラス部・顧問 竹 理絵子

総社西中学校コーラス部は創部して30年近くになります。その間、今日に至るまで長年に渡り指導されてきた歴代の先生方とともに、数え切れないほどのコーラス部員が全国大会出場を目指し練習に励んできました。また、代々伝わる「歌道一直線」という言葉とともに、音楽に向かう姿勢や思いが歌声となり、伝統となっています。中国大会には何回も出場させて頂いていますが、全国大会にあと一步及ばずという年も度々ありました。ですからこの度の上場は、幾年も幾年も重ねられた総社西中学校コーラス部の思いと今年度のメンバーの思いがひとつになり、たどり着いた喜びでした。そして中国大会では、岡山県合唱連盟の皆様こ支え見守られ、自分たちの音楽を心置きなく演奏することができました。ありがとうございました。

憧れの全国大会。プログラムには常連校の名前が連なっています。出場校の演奏は「本当に中学生だろうか?」と耳を疑うほどの演奏もあり、どこも素晴らしい度肝を抜かれました。そんな中、今まで味わったことのない空気感に生徒たちは少し緊張の面持ちでしたが、舞台袖で総社市出身だという香川県合唱連盟のスタッフの方にエールを頂き、また、入場とともに溢れ

る拍手と会場の温かさに背中を押され、まるで「がんばれ!」と聞こえるような雰囲気緊張も少し和らぎました。今まで私たちを支えてくださったたくさんの方々、そしてここへ来るまでの様々な道のりが走馬燈のように駆け巡り、ステージに上がっている時間は何とも言えない幸せな気持ちになりました。

今年度私たちは、「どのようなステージでも後悔がない演奏をする」ということを目標に練習を重ねてまいりました。中国大会で演奏を終え、袖に入った瞬間、一人の生徒が「悔いなく演奏できました!」と



満面の笑みで私に語ってくれました。そして、その結果が全国大会出場となったのです。仲間と協力すること、努力をした先に味わうことができる達成感、そして音楽とまっすぐに向き合う心など、子どもたちの前向きな努力の先には美しく純粋な音楽があり、それが奏でられ

た瞬間、誰もが何物にも代えられない幸福感に包まれます。音楽は人の心を動かす素晴らしい力をもっています。音楽がもつそんな力を信じ、コンクールというステージだけにとらわれず、これから先も歌を、そして音楽を愛する人でありたいと願っています。

## 「第69回全国大会を終えて」

合唱団こぶ・指揮者 大山 敬子

素晴らしい合唱に圧倒されながら幸せな時間をいただいた全国大会でした。その感想を書かせていただくとして見つけました。2006年、秋「Tutti」の原稿です。

本当にたくさんの方々から、声をかけて頂いた日でした。「おめでとう！」「僕が作りたかった合唱が聴けました。」「課題曲がすごくフィットしました。」「課題曲はオーバーのほうがかっこいい。」「もっともっと、自分たちの人間性、内面を豊かにしていって。でも、こぶの魅力を失わないでくださいね。」「私たち、合唱団あるができて4、5年頃のエネルギーを感じました。彼らが今後よい経験を重ねればきっと、もっと素敵な演奏が期待できる。コンクールなのですが、そんな演奏に出会えたこと、素敵な合唱団に出会えたことが本当に嬉しかったです。」「何という幸せでしょう。さまざまな評価、批評、アドバイスをし、関わってくださる多くの方々、その一言一言をしっかりと心に刻みました。

中学校の現場で悪戦苦闘し、でもその15歳を毎年こぶに迎え、高校生、大学生、大人となりともに音楽を作るとき、喜びとそして責任を感じます。どう音楽と向き合うか、どう人と向き合うのか、私自身の課題でもあります。上月先生の温かい握手に音楽への思いを新たに、シンフォニーホールを後にしました。みなさま、ありがとうございました。

これは10年前、中国大会が岡山シンフォニーホールで開催された年に書かせていただいた文章です。合唱団こぶが中国大会で初めて金賞をいただいたときの喜びは今でもはっきりと憶えています。

この文章の2年後、こぶは全国大会に出場することができました。「今年」（谷川俊太郎・詩/松下耕・曲）を歌った年です。それから、8年間、連続して8回の全国大会の舞台を踏みこむこととなり、4年前からは中国大会で4度の全日本理事長賞を受けるという恵まれた歩みを重ねてきました。そしてそれ故に、中国支部の代表としての重責も私たちに課せられてきました。「今年こそ」という強い思いはありながらも、なかなか、評価は厳しくまなまりません。全国大会が終わるたび反省をしてしまいます。応援をしてくださる岡山県、中国支部の多くの方々にも申し訳ない思いです。

こぶは来年結成25年を迎えます。何が変わり、何が変わらずに今日までをたどって来たのかも今こそ省みる時が来ている気がします。結成当時のメンバーで現在在籍しているのはたった1名です。中学生の時代に音楽、歌うことの世界の扉をたたき、追求の思い止まずこぶに入団し、さらなる音楽の世界を知るために活動を続けていても、進学や就職でまた結婚や子育て、その他の理由で活動から離れていったメンバーも多くいます。毎年10名以上のメンバーが入れ替わります。そう、変わったものは団員の状況です。当然それは団員それぞれの「こぶへの思い」にも変化をきたしています。

そして変わらないもの、それは「こぶ」という存在にずっとエールを送り続けてくださる人々の合唱音楽への愛情です。こぶの年を重ねたメンバーにも、どんなことがあるうとこぶで音楽を求めていこうとする惜しみない愛情を感じます。言い換えれば、「音楽を息づかせる場所」への愛情です。

場所が人をつくり、人が場所をつくっていきます。「こぶ」という場所で音楽が息づき、一人一人が輝く場所となるように、音楽を磨き、生き方を磨き、メンバーとともに進化していきたいと思っています。こぶで活動しつつ、また別の音楽環境で活躍をし始めたメンバーも少なからずいます。そのしなやかな枝を育むためにも、幹であるという

自覚を持って魅力的なこぶであることを願っています。

「この曲に出会えてよかった。」「このメンバーとともに歌えてよかった。」よく言われる言葉です。全国大会という最高に厳しくそして音楽への愛に包まれた空間で、この言葉を一人ひとりが、心の底からかみしめることができたなら、私たちは進化するはずなんです。だから来年も全国大会をめざします。そして、その演奏の終わりの瞬間を抱きしめたい。

音楽の神様にみちびかれて、  
いま、ここから、みんなで。

応援ありがとうございました。  
ございました。



# 「合唱の祭典 in 愛知」

コール・ファミリー      渡邊美和子

第31回国民文化祭あいち2016(名古屋文理大学フォーラム大ホール)にて11月6日(日)。私はコール・ファミリーの一員として合唱祭に参加させていただきました。こんなに大きな合唱祭に出るのは私にとって2回目の事なので、何と幸せであり又反面不安いっぱいの気持ちでした。全国から15団体の合唱団が参加し、さらに愛知県内の中学校、高等学校の有志による合同演奏会で合計19団体の大変大きな演奏会でした。私達の出演は6番目です。「きみ歌えよ」「Stand Alone」の2曲を平常大森先生に教えていただいた言葉を思い出しながら、心を込めて一生懸命歌いました。最初はちょっと緊張しましたが、たんだん歌の中に入り込んで会場の音響関係が良かったのと、お客さんが熱心

に聞いて下さっているのがとても伸びやかに響き大森先生のタクトを見ながら自分でも驚く位気持ち良く歌う事が出来ました。そのあと控室に帰っていたら通路にいたお客さん15、16人が「良かったですよ。」と言って拍手をして下さいました。何だかスターになったような気分になりました。それから記念写真を撮って私達は大森先生と役員さんだけを残してバスで帰途につきました。京都近くに帰った時、大森先生より連絡がありました。聴衆賞を頂いたと言うすばらしい連絡でした。バスの中は「ワッ」「ヤッター」と賑やかな歓声がしばらくの間止みませんでした。この賞はこの日客席のお客様に、本日の演奏を聴いて「もっとも印象に残った合唱団」に皆様



それぞれ1票を投じて下さいと企画されたイベントでした。最後の演奏が終わってから、最も投票数の多かった3つの合唱団に開催地にまつわる記念品と賞状を贈られたのです。大森先生、ピアノの今井先生、他皆様にお礼を申し上げたいと思います。この感激をいつまでも忘れないで元気よく、歌を歌いながら過ごしたいものです。

## 【編集後記】

今年も皆様には大変お世話になりました。いつも口癖のようにスタッフを、チケットをと言っている自分が嫌になることがあります。これを言わなくても大会が運営出来たらどんなに楽なことか、と。何回も同じことを言われると聞く方もいやになりますよね。それを重圧と感じておられる団体もあるかもしれませんね。ただ事務局長として発信する場合それぞれの団に向けて使い分けることは出来ませんので、同じ文面をお送りすることになります。特にスタッフについては団内でご相談いただき推薦が出来なければそのように連絡をください。無理をしてまでとは言いません。それぞれの団にそれぞれの事情があるでしょうから、出来ることをご協力をいただきたいと思います。先ずはおかあさん全国大会の成功を、それが終われば70周年事業に取り掛かりますので、並行して準備を進めて参ります。(事務局長 内田 毅)

## CONCERT INFORMATION

<p><b>合唱団こぶ 11th Concert (こぶこん 2017)</b></p> <p>と き 2017年3月12日(日) 14:00 開演          ところ 総社市民会館          曲 目 混声合唱版委嘱初演          淵上毛銭の詩による混声合唱組曲「約束」          コンクール報告演奏          ゲスト 高島昌二/瑞慶覧尚子          入場料 1000円(大学生以下500円)          お問い合わせ 0866-92-8371(総社市勤労青少年ホーム)</p>	<p><b>倉敷少年少女合唱団 第41回定期演奏会</b></p> <p>と き 2017年4月30日(日) 18:00 開演          ところ 倉敷市民会館大ホール          曲 目 各コンクール受賞曲          ジュニアクラスの楽しい曲          ミュージカル「ライオン・キング」          入場料 無料(整理券入場制)          お問い合わせ 080-5612-7682(難波)</p>
<p><b>倉敷コールクライネ 第35回定期演奏会</b></p> <p>と き 2017年5月14日(日) 14:00 開演          ところ 倉敷市芸文館          曲 目 Messe A          女声合唱曲「ほほえみ」から          イソップさんのおはなし          入場料 1000円          お問い合わせ 086-422-7604(吉田)</p>	<p><b>瀬戸内混声合唱団 第17回定期演奏会</b></p> <p>と き 2017年5月28日(日) 14:00 開演          ところ 児島文化交流センター ジーンズホール          曲 目 混声合唱組曲「光葬」          混声合唱のためのヒット曲メドレー「JOVE」          中田喜直による童謡集 他          入場料 無料          お問い合わせ 090-2809-7482(畠山)</p>